

市立総合病院にたのもし助っ人

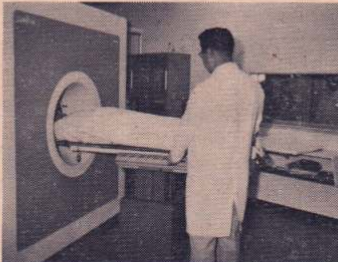
最新鋭の設備を導入

病巣の早期発見に 大きな威力を発揮

市立総合病院では、増築中の放射線棟が四月末に完成しましたが、昨今の医療技術と設備の急激な近代化に対応するため、最新鋭の医療機械と諸機材を導入しました。この導入により、放射線診療部門が大幅に強化され、地域の一大総合病院として高度の医療サービスが大きく期待されています。

導入した各種医療機械の中で最も注目されているのは、購入価格が約三億円の高性能「CT装置」

と、それに約三千万円の「シンチカメラ」の二つで、これらは次のような機能を持っています。



導入されたCT装置(上)とシンチカメラ(下)



CT装置

この装置は、コンピュータとX線装置を組み合わせたもので、身体を透過するX線を人体組織に吸収させて、その度合いを測定し、そのデータをコンピュータに記憶させ、人体の横断面像を描かせるもので、人体のどの部分も「輪切りの状態」に写しとることができる装置です。

この方法は他と違って患者には苦痛がなく、能率も従来の血管造影法に比べて十倍以上というので、病巣の早期発見に大きな威力を発揮できるものです。

シンチカメラ

これは、人体に微量のR⁹⁹(放射性同位元素)を注入し、その放射線を検出する装置で組織に集められ、そこから発生するガンマ線を検出器でとらえると同時に、写真に撮って病気の診断をするもので、今までのX線診断では難しかった臓器の形態や腫瘍、それに転移部分が容易に検出できる装置です。

市役所の電話番号
49-3111

知事と語る会 工業団地拡張などを要望

五月十六日、市役所に佐々木知事を迎え「知事と語る会」が開催されました。

知事の市町村訪問は、広く県民の声を聞き県政に反映させることと毎年行われているもので、この日は県側から知事のほか地方課長、出先機関の所長など、市側から三役、議会の代表、それに、商工業、農林業、観光、芸術、文化、スポーツなど各種団体の代表が出席し、約二時間にわたって質疑応答をしました。

市の要望の中からはその主なもの、それに対する県の回答の要旨は次のとおりです。

△二井田の工業団地の拡張を、県にも造成の計画はある。土地交渉は市でやってほしい。

△農業基盤安定のため「えさ米」を転作に指定する。県は農業試験場で試作、研究の計画でいるが、現状では導入には難点が多い。

△産業廃棄物処理施設の設置を、経費費などのコストの面からみて、企業独自で建設、県の建設資金融資という方向で検討していきたい。

△文化会館建設への補助を、県から国への働きかけを



国民年金だより

◆年金の特例納付は 今月で締め切られます

国民年金に当然加入しなければならない方で、まだ加入手続きをしていない方や加入しているが保険料の未納期間があるため、年金権を失っている方々のために、いま「特別納付制度」を実施中ですが、今月いっぱい締め切られます。

保険料は一カ月四千円で未納期間分を払い込めば、年金権が与えられます。今月が最後のチャンスです。忘れずに手続きをして老後をより豊かなものにしましょう。



6月30日 締め切り

詳しいことは市役所年金係へお問い合わせください。

◆障害年金受給のための 巡回診断の申し込みを

障害年金(福祉年金を含む)を受給できる資格がありながら、その手続きをしないため年金を受けずにいる方はいませんか?

このように方々に障害年金受給の機会を与えることを目的とし、巡回診断を行うための臨床診断書を容易に得られない肢体不自由者と精神障害者の方々は、市民課年金係へ七月十日までお申し込みください。この機会をのがさず巡回診断を受け、障害年金を受けられるようにしましょう。

なお、巡回診断の実施日は、受付後に個人あて通知します。



No. 14

検査も診療も出来るようになりました。それに付くても十億円を超す経費がかかりました。つくづく「安心料は高いもの」と思っています。

しかし、何よりも大切なことは、病気にならないための日常の健康管理、健康づくりであります。知っていないがやらなければならないことは「怠り」であり、後々まで悔いが残ります。悔いのない人生でありたいものです。

失立ハイツがオープン
天然秋田杉の里、矢立峠に秋田県労働者福祉事業団が「失立ハイツ」を建設、十九日にオープンされます。

留山健治郎

市役所の内線電話番号が全部変更になりましたので、